



地域の人との関わりを深める 笠松町民一斉「会い・Eye・挨拶ラジオ体操」

8月4日(土)、平成30年度笠松町民一斉「会い・Eye・挨拶ラジオ体操」が各小学校区で実施されました。これは、青少年育成町民会議と道徳のまち笠松推進会議が中心となって実施しており、今から4年前に始まって、今年度で5回目を迎えました。

夏休み期間中のラジオ体操は、60年以上前から各子ども会・町内会単位で行われており、夏休み中のかかなり長い期間に行っていました。各会場には、小学生を始め中学生も参加するとともに、就学前の子どもや地域の大人も大勢参加し、地域を挙げてのイベントとなっていました。体操終了後には、地域の清掃活動を行うこともありました。そんな中で、町内に住む人々が顔見知りとなり、朝の挨拶や日常会話が自然な形で行われていました。

しかし、年が経つにつれて、各地域の子どもの数が減るとともにラジオ体操に取り組み期間も少なくなり、近年では、地域の小学生を中心に関係する大人がチラホラといった所が多く、地域の人々と子どもたちが顔見知りになる機会が減ってしまいました。

そこで、各地域で行っている夏休みラジオ体操を三世代交流ラジオ体操にしていこうとし、さらに小学校区ごとに町民一斉のラジオ体操を企画したのが「会い・Eye・挨拶ラジオ体操」です。

今回も、各会場とも多くの参加者が集い、ゲームやラジオ体操で交流を深めることができました。

はじめに、「挨拶ジャンケンゲーム」を行いました。大人と子どもが対戦することとし、朝の挨拶と自己紹介の後に握手をし、ジャンケンをします。5回勝った子から参加記念品がもらえます。すんなり5回勝つことはほとんどなく、多くの大人とジャンケンをし、多くの顔見知りができることになりました。



ゲームのコマ

そして、ラジオ体操です。第一体操、第二体操と進みましたが、どの会場でも熱心身体を動かす姿を見ることができました。朝からとても暑い日でしたが、ラジオ体操終了後には、ほとんどの参加者が清々しい表情で会場を後にしました。



笠松小学校会場



下羽栗小学校会場



松枝小学校会場

取材を終えて…各会場とも多くの参加者があり、人と人との関わりがたくさんできました。今後、地域ごとで実施するラジオ体操に多くの方が参加するようにしていくことが大事だと思います。

